

年間第3 2主日

列王記上 17・10-16

ヘブライ 9・24-28

マルコ 12・38-44

2021.11.7 カトリック高円寺教会
ジョン・ジュン神父（クラレチアン宣教会）

天国に入るためのチケット

もし、天国に入るチケットが必要ならば、チケット代はいくらだと思いますか？
寄付をすることで十分ですか？ 祈ることで十分ですか？ 断食することで十分ですか？

カナン人たちはバール神の偶像を崇拝していました。雨と収穫の守護神です。エリヤの時代、イスラエル人の王アハブの妻イザベルがバール神を崇拝していたため、それは国民に影響を与えました。それでイスラエル人はバール神を信じるようになりました。

預言者エリヤは、「この地方は3年間雨が降らず、霜も降りず、旱魃になる。そして飢饉が起き、疫病も蔓延する」と告げました。

その後、預言者の言葉通り現実となり、偶像の力が効かなくなりました。

しかし、王のアハブはエリヤを逮捕し死刑にする命令を下しました。エリヤはサレプタでやもめに会いました。そのときエリヤはとても喉が渴いていて、お腹も空いていました。そこで彼女に水とパンをお願いしました。でも、そのとき彼女の家にある全ての食物は少しのパンだけでした。

「主が地に雨を降らせる日まで壺の粉は尽きることなく、瓶の油はなくなる」とエリヤは言いました。彼女はエリヤを信じ、パンを提供しました。

古代人にとって、自分の民族の中において成功や財産、全てが順調であるのは、神様の祝福だと思っていました。

逆に、イスラエル人にとっては、弱い人や孤児、やもめに心をかけ、助けることが神様の教えであり、報いを求めず無償の奉仕を行うことが大切でした。

この女性は、神様のことは知りませんでしたが、神様を尊敬していました。

第二朗読、キリストは本当の司祭です。古代の司祭は神様に奉獻する時、聖殿の石の上に捧げます、イエス様は我らを救われ、すべての祭祀を行われました。

福音で、

1. イエス様の一番嫌いな人は偽善者です。彼らは人の前で、自分たちは知識や名誉があるからと、偉そうな態度をとります。自分が偉いと思う人は他人と区別し、不公平な制度に固めます。イエス様は偽善者を批判されました。
2. やもめが家を奪われたことも批判されました。純粋な人をだますな、と。
3. 長い祈りをする人、彼らは自分たちの祈りを見せるため、自分を騙し、人々や神様も騙しました。純粋な人はこのような偽善の宗教に耐えることができません。

イエス様はたとえを与えました。このたとえの中で、やもめは聖書を読んだことはなく福音を聞いたことがない人の代表です。でも、この人は、毎日福音の通り生きていました。愛の模範です。彼らは貧しい状況でも全ての物を神様に捧げます。やもめは、イエス様の真の弟子です。

最後に皆さんにお勧めしたいです。わたしたちも毎日真実に生き、弱い隣人に心をかけましょう。今コロナの状況の中で、精神的に、日常生活もいろいろな問題にぶつかります。お互いに隣人への関心を持ちましょう。